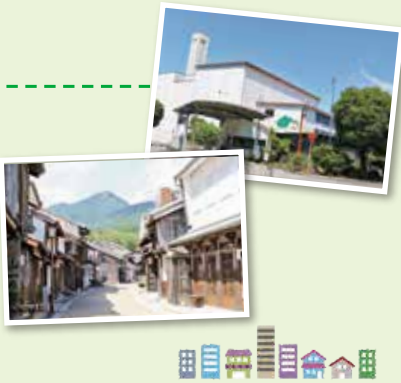


他の分野別事業

1 快適さを支える生活基盤の向上

■ 地震対策・木造住宅補強事業	2,441万円
■ 防災情報伝達システム整備事業	759万円
■ ごみ溶融処理施設大規模整備事業	1億4,520万円
■ 森林経営管理事業	5,520万円
■ 伝統的建造物群保存修理修景事業	3,537万円
■ 東海道街道環境整備事業	4,586万円



2 健康で生きがいを持てる暮らしの充実

■ がん検診推進事業	8,954万円
■ 地域福祉力向上重層的支援体制整備事業	2,238万円
■ 生活困窮者自立支援事業(自立相談支援事業等)	2,344万円
■ 介護保険地域支援事業・地域包括支援事業	5,825万円
■ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業	528万円
■ 福祉医療費助成事業(心身障がい者)	1億5,179万円
■ 地域の学び推進事業	1,469万円



3 交通拠点性を生かした都市活力の向上

■ 観光プロモーション推進事業	1,182万円
■ エネルギー価格高騰対策中小企業者等支援事業(Ver.2、Ver.3)	9,270万円
■ 創業等支援事業	120万円
■ 肥料価格高騰対策事業	330万円
■ 亀山7座トレイル整備・活用推進事業	324万円
■ リニア中央新幹線整備促進事業	164万円
■ リニア中央新幹線亀山駅整備基金積立事業	5,654万円



4 子育てと子どもの成長を支える環境の充実

■ GIGAスクール構想推進事業	6,016万円
■ 個の学び支援事業(小・中学校)	9,897万円
■ 生活困窮者自主支援事業(学習支援事業)	332万円
■ 低所得子育て世帯生活応援給付金支給事業(ひとり親世帯分・ひとり親世帯以外分)	4,425万円
■ 福祉医療費助成事業(子ども)	2億1,016万円
■ 長期休暇子どもの居場所事業	542万円
■ 放課後児童クラブ	2億342万円
■ 適応指導教室事業(子どもの居場所事業)	1,097万円
■ 使用済み紙おむつ回収・処理(保育所費・施設管理費)	40万円



5 市民力・地域力の活性化

■ 地域まちづくり協議会支援事業	2,391万円
■ 市民活動応援事業	746万円
■ シティプロモーション推進事業	258万円
■ 移住交流促進事業	662万円



6 行政経営

■ 新庁舎整備事業	75万円
■ 行政情報システム事業(住民情報系)	1億1,121万円
■ マイナンバーカード交付事業	1,652万円



特別会計

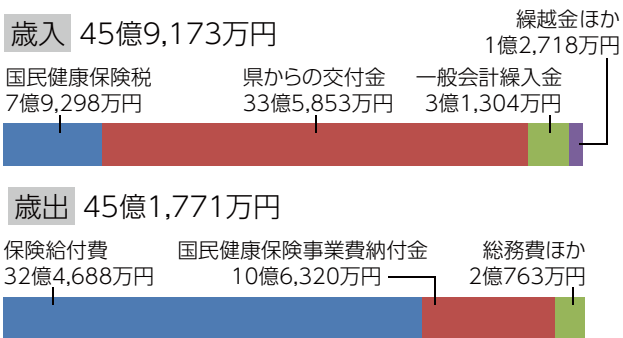
一般会計からの繰入金

国民健康保険事業	3億1,304万円
後期高齢者医療事業	5億9,531万円

特定の事業を行う場合に、特定の歳入をもって特定の歳出に充て、一般の歳入歳出と区分して経理する必要がある場合、一般会計とは別に特別会計を設けており、亀山市では現在、国民健康保険事業、後期高齢者医療事業の2つの特別会計があります。特別会計全体の決算額は、歳入が約57億4,351万円、歳出は約56億6,763万円、歳入から歳出を差し引いた額から、翌年度に繰り越す財源を控除した実質収支額は、約7,588万円となりました。

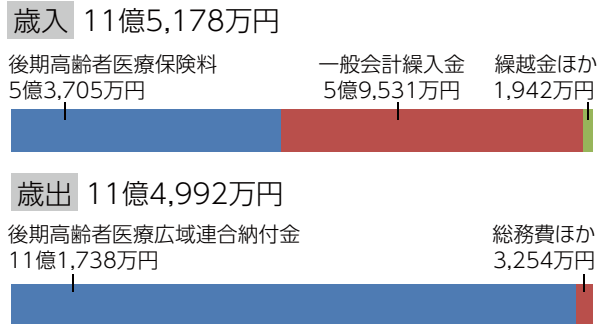
国民健康保険事業

令和5年度末の加入世帯数は5,212世帯、被保険者数は7,746人でした。医療費(自己負担分を除く)を保険給付費として国民健康保険事業特別会計から支出しました。



後期高齢者医療事業

75歳以上(一定の障がいがある場合は65歳以上)の高齢者を対象とした医療制度で、令和5年度末の被保険者数は7,378人でした。保険者である三重県後期高齢者医療広域連合へ医療費の給付等の事業に係る経費の負担を行うとともに、市の事業として各種届出の受付、保険料の収納事務等を実施しました。



企業会計

一般会計からの繰入金

下水道事業	8億1,000万円
病院事業	2億4,256万円

地方公営企業法の適用を受けて設置する、自治体でも収益が認められている特別な会計であり、原則として独立採算制による業務運営が求められています。令和5年度決算においては、水道事業、工業用水道事業、下水道事業、病院事業の4つの企業会計となります。

水道事業

みどり町、井尻町等にて配水管の改良工事を、亀山配水池にて緊急遮断弁の設置工事を、辺法寺加圧ポンプ場にて非常用発電設備の設置工事等を行うなど、施設の耐震化と安定稼働に努め、安全でおいしい水の安定供給を行いました。

収益的収支(水道料金などでの収支)	
水道事業収益	14億3,821万円
水道事業費用	12億4,303万円
差引額	1億9,518万円
資本的収支(施設建設などでの収支)	
資本的収入	5,767万円
資本的支出	3億6,184万円
差引額	△3億417万円

工業用水道事業

12月から新規企業に給水を開始し、合計4企業に1日平均2,294m³を供給しました。

また、水源や施設の定期的維持管理を行うことにより、良質で安定した水の供給に努めました。

収益的収支(工業用水道料金などでの収支)	
工業用水道事業収益	8,166万円
工業用水道事業費用	5,327万円
差引額	2,839万円
資本的収支(施設建設などでの収支)	
資本的収入	0万円
資本的支出	2,661万円
差引額	△2,661万円

下水道事業

公共下水道事業は、管渠布設工事を井田川・能褒野、本町南部の各処理分区にて行い、また長寿命化対策工事を井田川・能褒野処理分区で行いました。農業集落排水事業は、施設の計画的な更新・修繕およびポンプ施設などの点検や清掃を行いました。

令和5年度末には、供用面積1447.4ha、処理区域内戸数14,405戸、普及率79.0%になりました。

収益的収支(下水道使用料金などでの収支)	
下水道事業収益	15億7,538万円
下水道事業費用	15億974万円
差引額	6,564万円
資本的収支(施設建設などでの収支)	
資本的収入	11億8,754万円
資本的支出	16億3,023万円
差引額	△4億4,269万円

病院事業

病床数は90床(うち地域包括ケア病床27床)、入院は年間延べ19,773人、外来は年間延べ37,028人が受診しました。

滋賀医科大学との連携により、不在であった整形外科の常勤医師を2名配置し、診療体制の充実および強化を図りました。

また、病院総合情報システムの更新など医療機器の整備を行い、病院の機能強化を図りました。

収益的収支(経常収支)	
病院事業収益	17億252万円
病院事業費用	17億15万円
差引額	237万円
資本的収支(施設建設などでの収支)	
資本的収入	2億6,383万円
資本的支出	3億209万円
差引額	△3,826万円

令和5年度に実施したその他の事業についても、市ホームページで公開しています。詳しくは、検索をご覧ください。

行政評価 第2次総合計画 亀山市

検索